

# 平成20年度当初予算のポイント

## 1 予算規模

(単位：千円、%)

区分	19年度当初予算	20年度当初予算	増減額	伸び率
一般会計	6,973,800	6,109,683	864,117	12.4
港湾整備事業特別会計	3,962,900	2,927,328	1,035,572	26.1
合計	10,936,700	9,037,011	1,899,689	17.4

## 2 予算編成方針

厳しい財政状況のなか、歳出面の徹底した見直し、節減に努めるとともに、「四日市港政策推進プラン」の着実な推進を図るため、限られた経営資源のもとで、事業の選択と集中を進め、「地域に貢献する、なくてはならない存在としての港湾」の実現に向けて必要な経費に財源を配分するものとなりました。

## 3 予算の概要

### (1) 一般会計

平成20年度一般会計予算については、国直轄事業負担金の減(15億6,000万円 6億5,000万円：9億1,000万円)などにより、平成19年度当初予算と比べると12.4%の減となっています。

### (2) 特別会計

特別会計については、霞ヶ浦北ふ頭土地造成事業の減(12億円 3億円：9億円)などにより、平成19年度当初予算と比べると26.1%の減となっています。

## 4 主たる事業の概要

### (1) 港湾基盤の充実強化

スーパー中枢港湾としての港づくりを推進するため、霞ヶ浦北ふ頭80号岸壁背後用地の整備(3億円)、霞4号幹線の整備(国直轄事業負担金5億6,000万円)、霞ヶ浦北ふ頭81号コンテナターミナルに関する基礎調査(900万円/～で3000万円)に引き続き取組めます。また、港湾施設の適切な維持管理を進めるため、

航路・泊地の浚渫（1億8,700万円）、上屋の耐震調査（4,000万円）などに取組みます。

## （2）災害対策の推進

富田港、富洲原港、2号地地区の護岸の補強（4億7,300万円）に引き続き取り組むなど、県民・市民の安全・安心を支えるための取組を進めます。

## （3）その他

平成30年代前半を目標年次とした港湾計画の改訂（平成21年度）に向け、長期構想検討委員会の開催や関連諸調査を実施します（7,426万円）。

# 5 新規事業等

## （1）四日市港利用促進事業費 50,000千円

北米等基幹航路コンテナ船寄港誘致事業の継続とともに、四日市港を利用してコンテナ貨物輸送から生じる環境負荷（CO<sub>2</sub>排出）の低減を図ろうとする民間事業者の取組みを支援する制度「グリーン物流促進補助事業」を新たに構築します。

## （2）安全・安心への対応 254,000千円

水深調査結果を踏まえ、早急に浚渫を要するエリアについて対応するものとして、第1航路・泊地の浚渫を実施（1億8,700万円）するほか、老朽化施設についての対応として、上屋18棟の耐震調査（4,000万円）、千歳運河物揚場の修景に配慮した石積補修（2,700万円）に新たに取組みます。

# 6 政策推進プランの実現に向けて

（別紙「四日市港政策推進プラン（2007～2010）にかかる平成20年度当初予算主要事業一覧」参照）